

第1回 食品ロスとは

食品ロスとは、食べ残しや、まとめ買いなどをしたが食べきれなかった食品（手つかず食品）、野菜の皮を厚く剥きすぎたもの（過剰除去）といった、「本来は食べられるのに捨てられてしまう食品」のことです。



るすのん（食品ロス削減国民運動のロゴマーク）

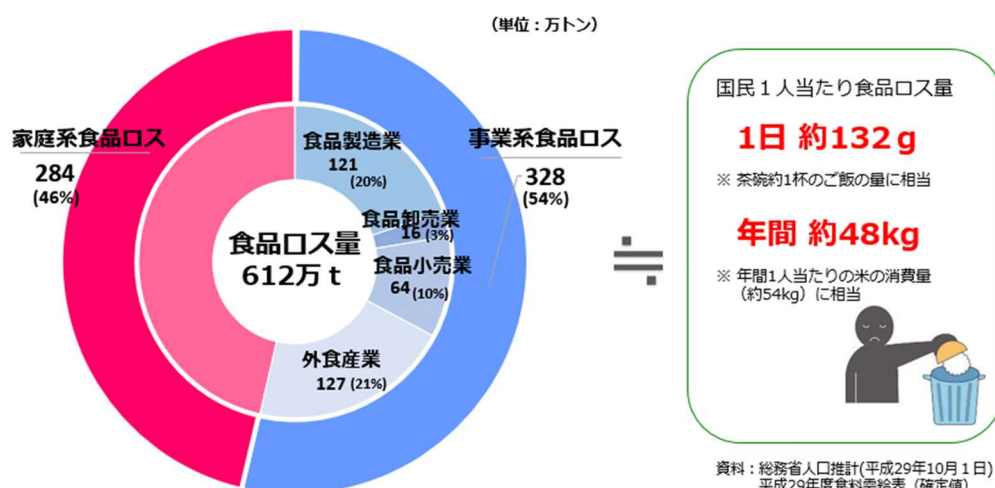
●日本ではどれくらいの食品ロスが発生しているの？

日本の食品廃棄物等は年間2,550万tそのうち、本来食べられるのに捨てられる食品「食品ロス」の量は年間612万t、およそ4分の1の量が食品ロスで占められているのが現状です。

国民1人当たりの食品ロス量は、年間で約48kg、これはお茶碗およそ一杯分のご飯を毎日捨てていることと同じくらいの量になります。

食品ロスの全体量612万tのうち、事業系食品ロスは328万t（53.6%）家庭系食品ロスは284万t（46.4%）になります。

事業系の食品ロスを業種別で分類すると、食品製造業…121万t、食品卸売業…16万t、食品小売業…64万t、外食産業…127万tになります。



食品ロスの全体量は平成27年度646万t→平成28年度643万t→平成29年度612万tと、年々減少傾向にはありますが、自分たちの行動を見直すことにより、更なる減少が可能になります。

これからも情報を提供していきますので、ぜひ参考にしてください！